

2017年3月期 決算補足説明資料

注) この資料は、2017年3月期決算概要をよりご理解いただくために、参考までに作成している資料です。

Best Communication
NAC



2017年5月12日

株式会社ナック

東証一部 9788



本資料の記載内容

- | | | |
|-------------------|---|------|
| 1. 2017年3月期決算概要 | … | P.2 |
| 2. セグメント別業績 | … | P.9 |
| 3. 2018年3月期連結業績予想 | … | P.22 |
| 4. 配当計画 | … | P.25 |
| 5. 中期経営計画 | … | P.27 |
| 6. 補足資料 | … | P.31 |

この配付資料に記載されている業績目標及び契約数目標等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、また新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績はこの配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

1. 2017年3月期 決算概要

1 '17.3月期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	'17.3月期 実績	'16.3月期 実績	増減率
売上高	85,901	80,302	+ 7.0 %
売上総利益	34,695	33,930	+ 2.3 %
(売上総利益率)	40.4%	42.3%	▲ 1.9 pt
販管費	33,564	33,229	+ 1.0 %
営業利益	1,130	701	+ 61.2 %
(営業利益率)	1.3%	0.9%	+ 0.4 pt
営業外損益	45	94	▲ 51.3 %
経常利益	1,167	795	+ 47.9 %
特別損益	▲ 65	288	▲ 126.1 %
親会社株主に帰属する当期純利益	467	252	+ 85.1 %

- » 売上高は建築コンサルティング事業を除く全てのセグメントで売上高が伸長したことで、前期を上回った。
- » 営業利益はクリクラ事業、レンタル事業、通販事業が前期を上回ったことに加え、前期計上したESOP信託満期による会社負担が無くなったことで前期を上回った。

1 セグメント別：売上高

(単位：百万円)

売 上 高	'17.3月期 実績	'16.3月期 実績	増減率
ク リ ク ラ	13,293	13,095	+ 1.5 %
レ ン タ ル	13,135	12,765	+ 2.9 %
建 築 コ ン サ ル	6,089	6,676	▲ 8.8 %
住 宅 事 業	42,936	37,452	+ 14.6 %
通 販 事 業	10,463	10,378	+ 0.8 %
消 去 調 整 他	▲16	▲65	-
合 計	85,901	80,302	+ 7.0 %

- » クリクラ事業は、加盟店・直営部門のともに売上高が増加し、前期を上回った。
- » レンタル事業は、全ての部門で売上高が増加し、前期を上回った。
- » 建築コンサルティング事業は、ノウハウ販売・建築部材販売ともに売上高が減少し、前期を下回った。
- » 住宅事業は、レオハウスで職人や業者不足などによる着工や工期の遅れはあったものの、受注数が増加したことで前期を上回った。
- » 通販事業は、Coyoriブランドにて新規顧客数と注文が順調に伸びたことで前期を上回った。

1 セグメント別：営業利益

カッコ内は営業利益率です。

(単位：百万円)

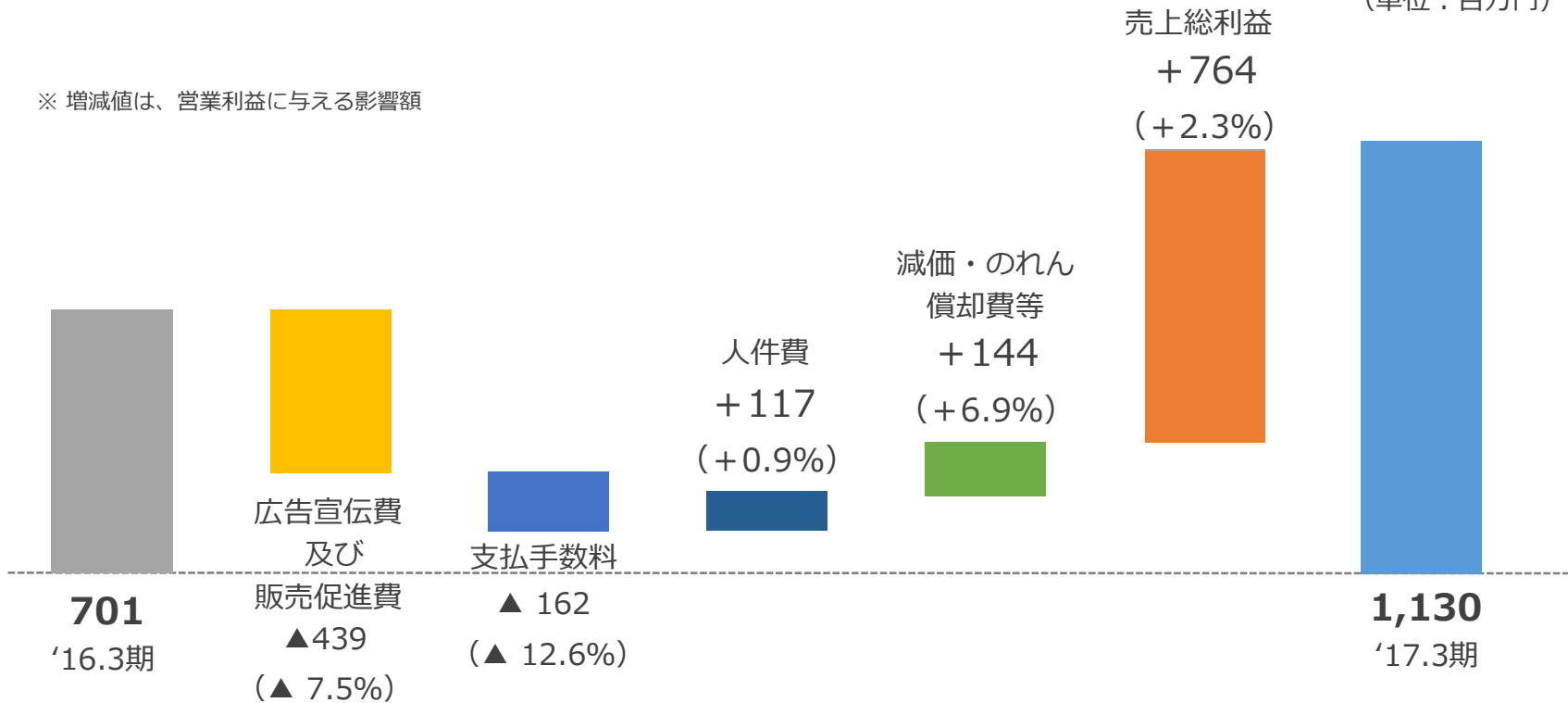
営 業 利 益	'17.3月期 実績	'16.3月期 実績	増減率
ク リ ク ラ	274 (2.1 %)	▲ 201 (▲ 1.5 %)	- (+ 3.6 pt)
レ ン タ ル	1,853 (14.1 %)	1,841 (14.4 %)	0.7 % (▲ 0.3 pt)
建 築 コ ン サ ル	956 (15.7 %)	1,146 (17.2 %)	▲ 16.6 % (▲ 1.5 pt)
住 宅 事 業	▲ 622 (▲ 1.5 %)	▲ 412 (▲ 1.1 %)	- (▲ 0.4 pt)
通 販 事 業	▲ 83 (▲ 0.8 %)	▲ 105 (▲ 1.0 %)	- (+ 0.2 pt)
全 社 費 用 等	▲ 1,247	▲ 1,567	-
合 計	1,130 (1.3 %)	701 (0.9 %)	+ 61.2 % (+ 0.4 pt)

- » クリクラ事業は、売上高が増加したことから販売管理費を見直したことにより前期を上回った。
- » レンタル事業は、全ての部門で売上高が増加したことで前期を上回った。
- » 建築コンサルティング事業は、ノウハウ販売と建築部材販売における売上高の減少により前期を下回った。
- » 住宅事業は、レオハウスの売上高が当初予想に届かず、また工事原価や販売促進費が増加し、前期を下回った。
- » 通販事業は、売上高が増加したことに加え、広告宣伝費及び販売促進費の適正化を図ったことで前期を上回った。

1 営業利益の増減要因（前期比）

（単位：百万円）

※ 増減値は、営業利益に与える影響額



① 売上総利益の増加理由

» 2016年5月よりケイディアイを当社グループに加えたことと、ジェイウツの売上総利益が増加したことによる。

② 販管費の増減理由

» 広告宣伝費及び販売促進費の増加は、各事業分野において積極的に販売促進を行ったことによる。

» 人件費の減少は、主に前期計上したESOP信託満期による会社負担が無くなったことによる。

» 減価償却費の減少は、レオハウスのモデルハウス等の閉鎖とクリクラ本庄工場減価償却の定率法に基づく減少による。

1 '17.3月期 通期：連結貸借対照表

(単位：百万円)

	'17年 3月末	構成比	'16年 3月末	構成比	増減額
流動資産	22,144	51.3%	20,113	48.2%	+ 2,030
有形固定資産	13,813	32.0%	14,249	34.2%	▲ 436
無形固定資産	3,222	7.5%	3,700	8.9%	▲ 478
投資その他の資産	3,995	9.3%	3,630	8.7%	+ 364
固定資産計	21,030	48.7%	21,580	51.8%	▲ 549
資産合計	43,175	100.0%	41,694	100.0%	+1,481
流動負債	20,905	48.4%	17,695	42.4%	+ 3,210
固定負債	6,710	15.5%	8,167	19.6%	▲ 1,456
負債合計	27,616	64.0%	25,862	62.0%	+ 1,753
株主資本	16,366	37.9%	16,661	40.0%	▲ 295
その他の包括利益累計額	▲807	▲1.9%	▲829	▲2.0%	+ 22
純資産合計	15,559	36.0%	15,831	38.0%	▲ 272
負債・純資産合計	43,175	100.0%	41,694	100.0%	+ 1,481

主な増減要因

- 流動資産：現金・預金 ▲916 販売用不動産 +2,471
- 固定資産：建物及び構築物 ▲443
- 流動負債：買掛金 +1,859 未払法人税等 +345
- 固定負債：長期借入金 ▲1,550
- 自己資本比率：36.0%

1 '17.3月期 通期：連結キャッシュフロー

(単位：百万円)

	'17.3月期 実績	'16.3月期 実績	増減額
1.営業活動によるCF	3,473	2,653	+ 820
2.投資活動によるCF	▲ 2,657	▲205	▲ 2,452
3.財務活動によるCF	▲ 1,732	1,424	▲ 3,156
現金及び現金同等物の増減額	▲ 916	3,872	▲ 4,788
現金及び現金同等物の期首残高	8,346	4,474	+ 3,872
現金及び現金同等物の期末残高	7,430	8,346	▲916

'17.3月期の主な要因

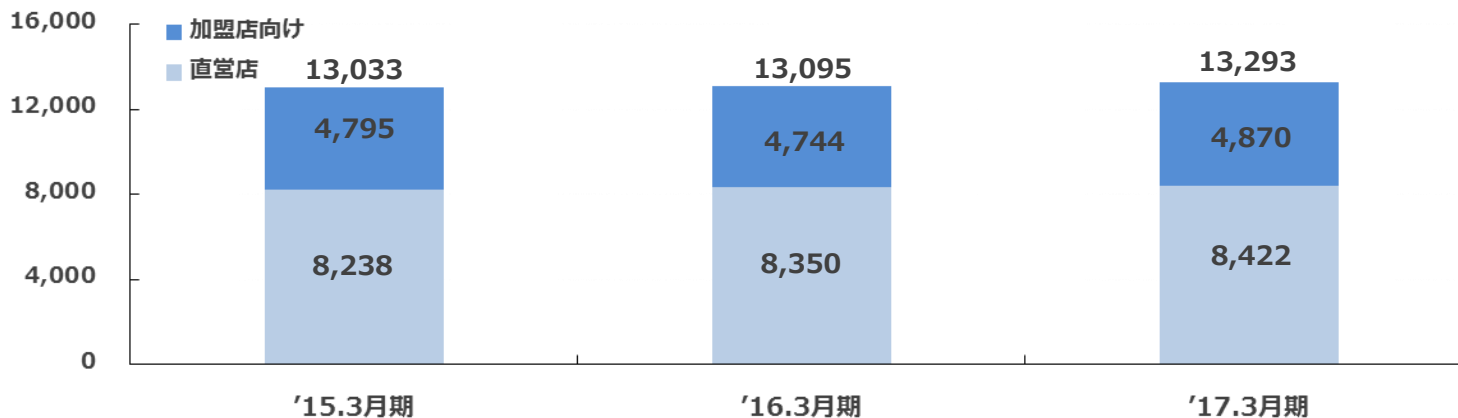
- 営業活動：税金等調整前当期純利益1,101百万円、減価償却費1,888百万円、仕入債務の増加1,659百万円等による資金の増加
たな卸資産の増加に伴う支出1,718百万円等による資金の減少
- 投資活動：有形固定資産の取得による支出1,060百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,015百万円等による資金の減少
- 財務活動：長・短期借入金の返済1,060百万円、配当金支払641百万円等による資金の減少

2. セグメント別業績

2 セグメント別業績（1）クリクラ ①

売上高

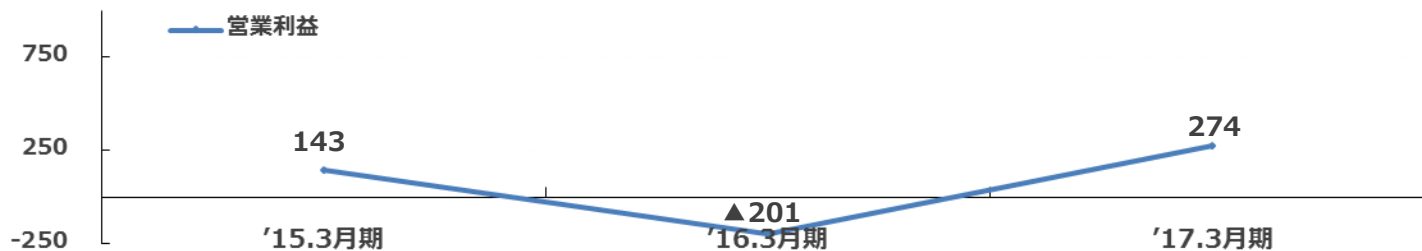
(単位：百万円)



- » 直営部門は、ワンウェイサービス「クリクラミオ」の顧客数が伸びたことで売上高が前期比で微増
- » 加盟店部門は、加盟店へのプラント機器の販売等が増加したことで売上高が前期比で微増

営業利益

(単位：百万円)

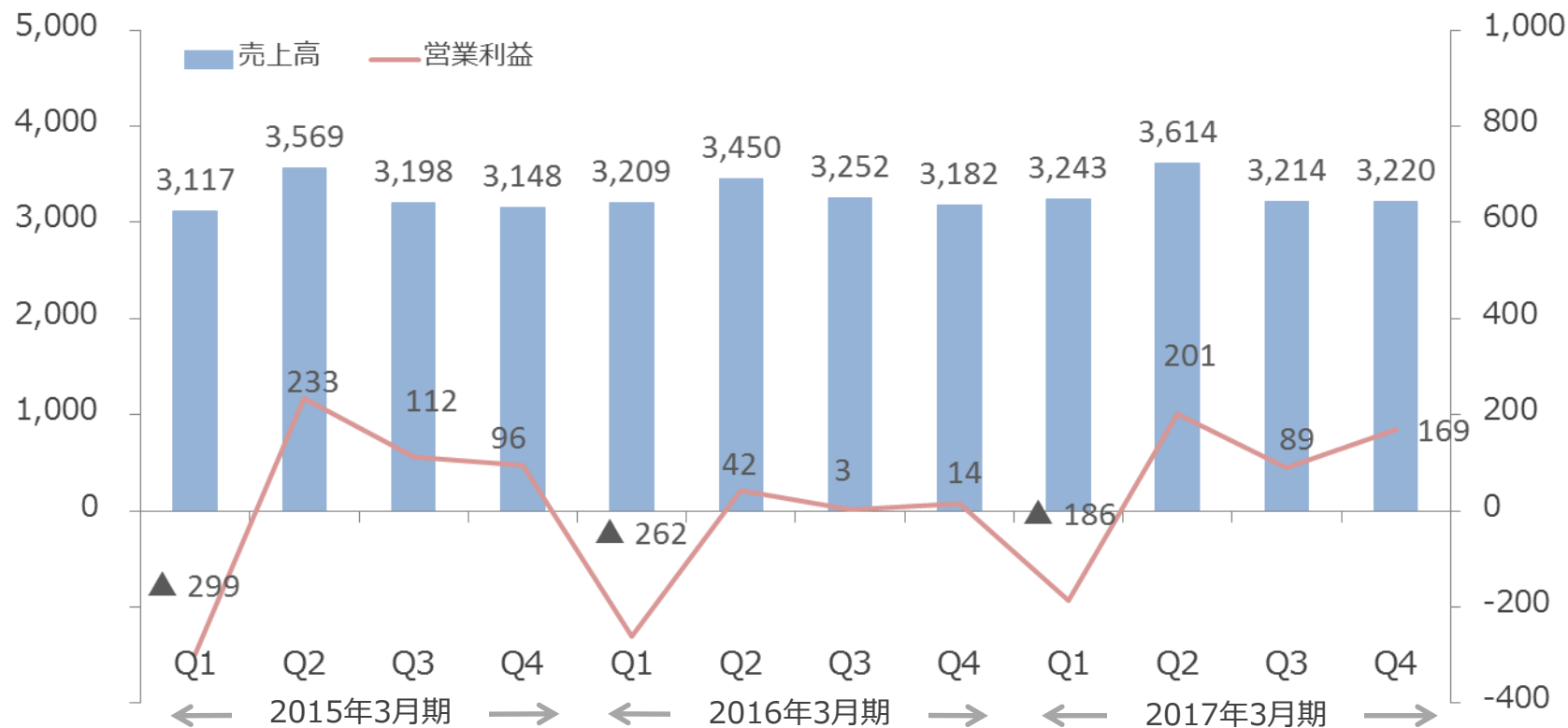


- » 損益面では、売上高が増加したことから販売管理費を見直したことにより営業利益は前期比で増加

2 セグメント別業績（1）クリクラ ②

(単位：百万円)

(単位：百万円)

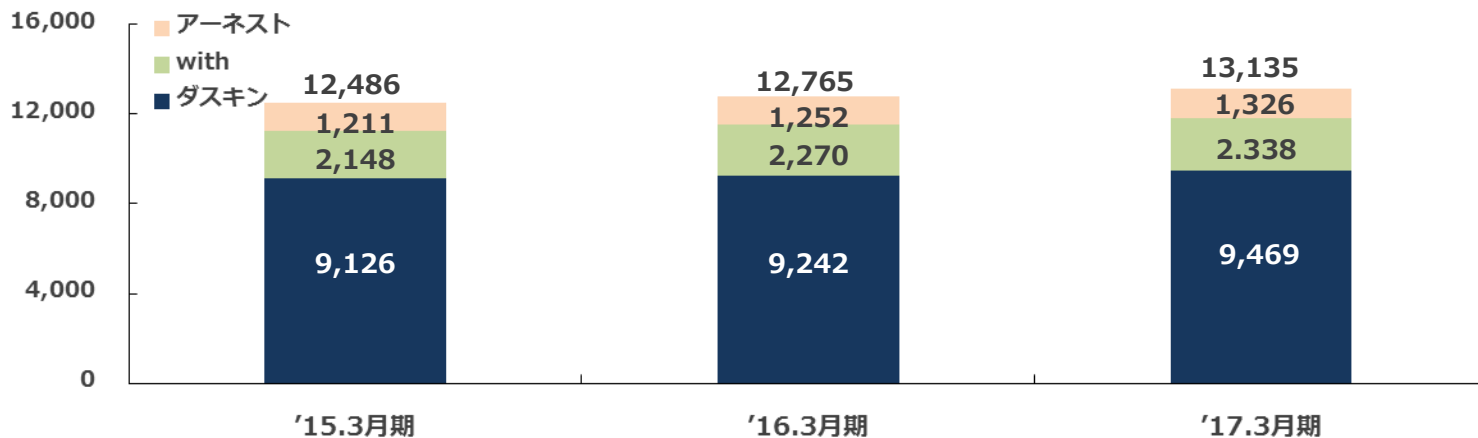


» Q1にテレビCMなどの販促費を増加 Q2で営業利益が高まる傾向

2 セグメント別業績（2）レンタル ①

売上高

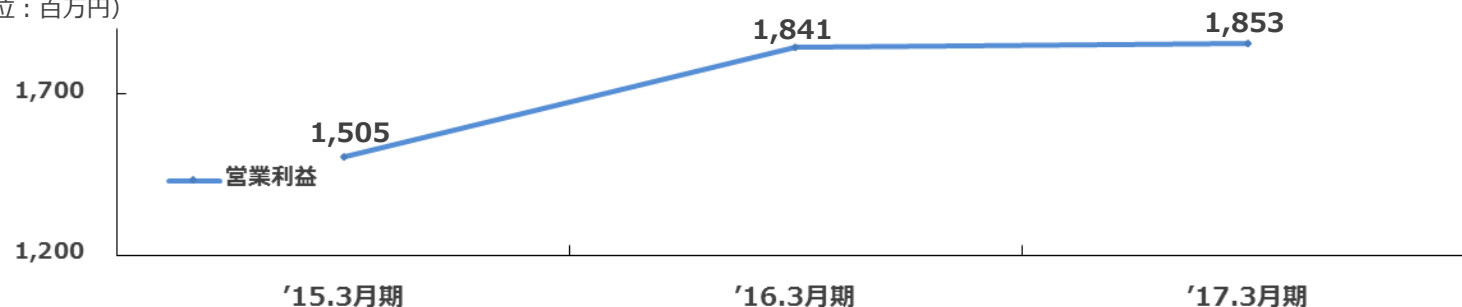
(単位：百万円)



- ダスキンの事業（ダストコントロール商品部門）は、M & A戦略と既存顧客への深耕が奏功したことで顧客数と顧客単価が堅調に推移し、売上高は前期比で増加
- with事業（害虫駆除部門）は、地道な営業活動により優良顧客が増加したことで、売上高は前期比で増加
- アーネスト(法人向け定期清掃サービス)はWEB受注の定着に加え、既存顧客からの紹介で新規顧客が増加

営業利益

(単位：百万円)

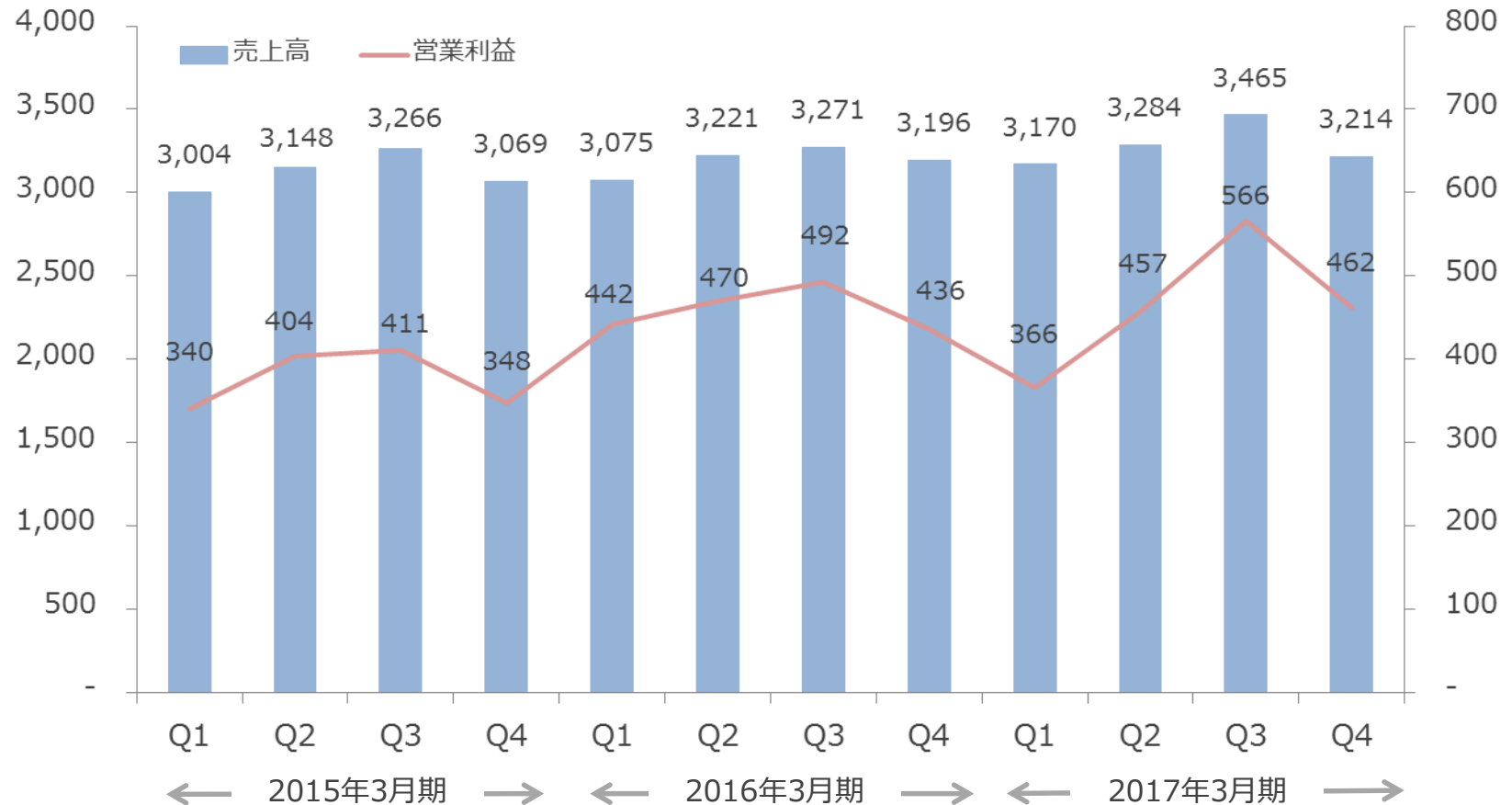


- 損益面では、人件費とその他の販売管理費が増加したものの売上高が増加したことで、営業利益が前期比で増加

2 セグメント別業績（2）レンタル ②

(単位：百万円)

(単位：百万円)

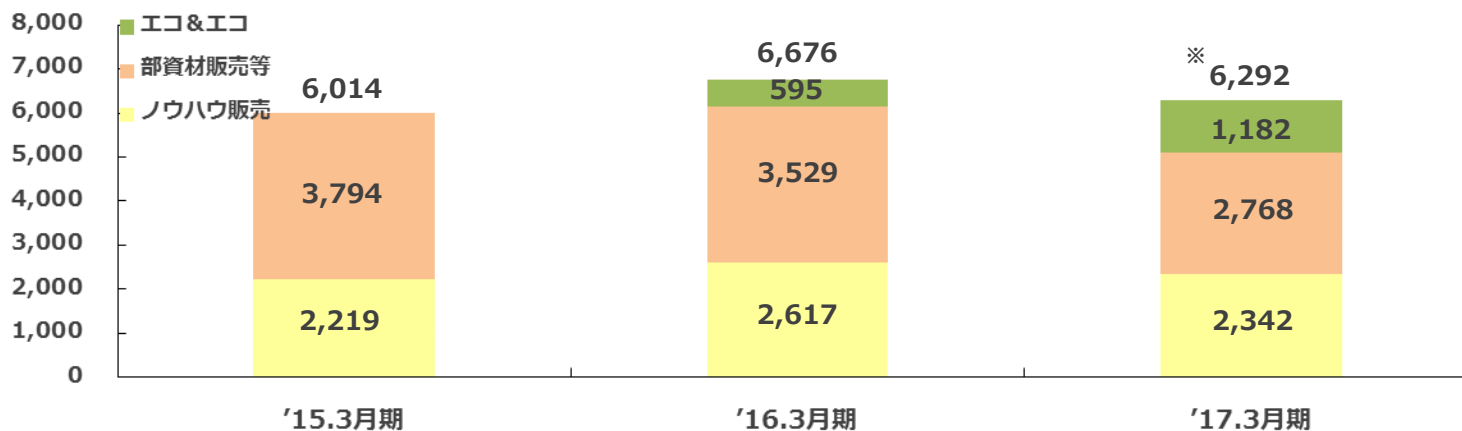


» 1年を通じて売上高・営業利益は安定

2 セグメント別業績（3）建築コンサルティング ①

(単位：百万円) ※ セグメント内売上202百万円を含む。

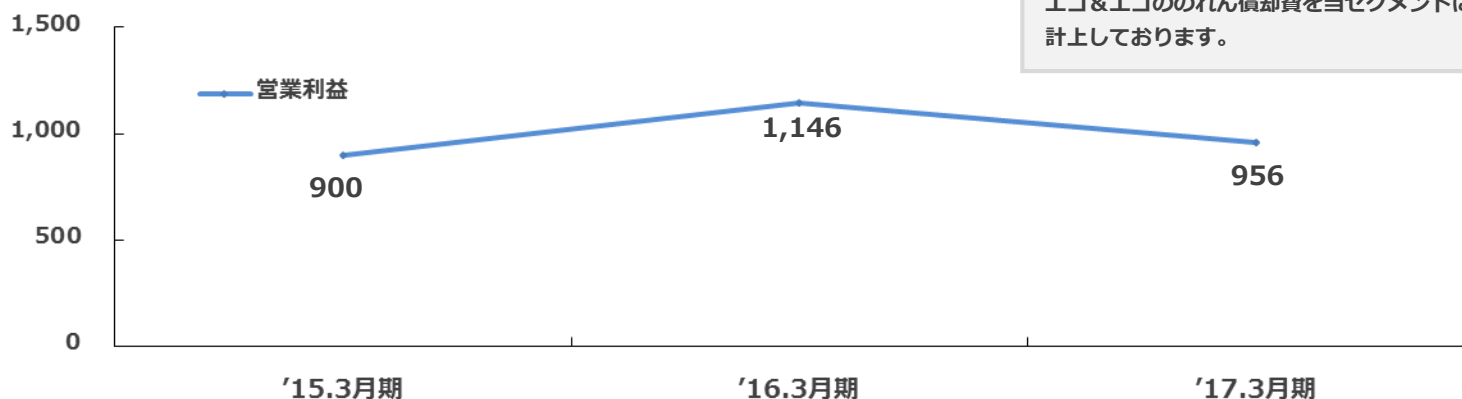
売上高



- » ノウハウ販売では、市場の先行き不透明感などに起因した地場工務店における投資抑制基調の影響が大きく、売上高は前期比で減少
- » 建築部材販売では、住宅用太陽光市場における建築部材の販売は伸長したものの、産業用太陽光市場縮小による売上高減少の補完には至らず、売上高は前期比で減少

営業利益

(単位：百万円)

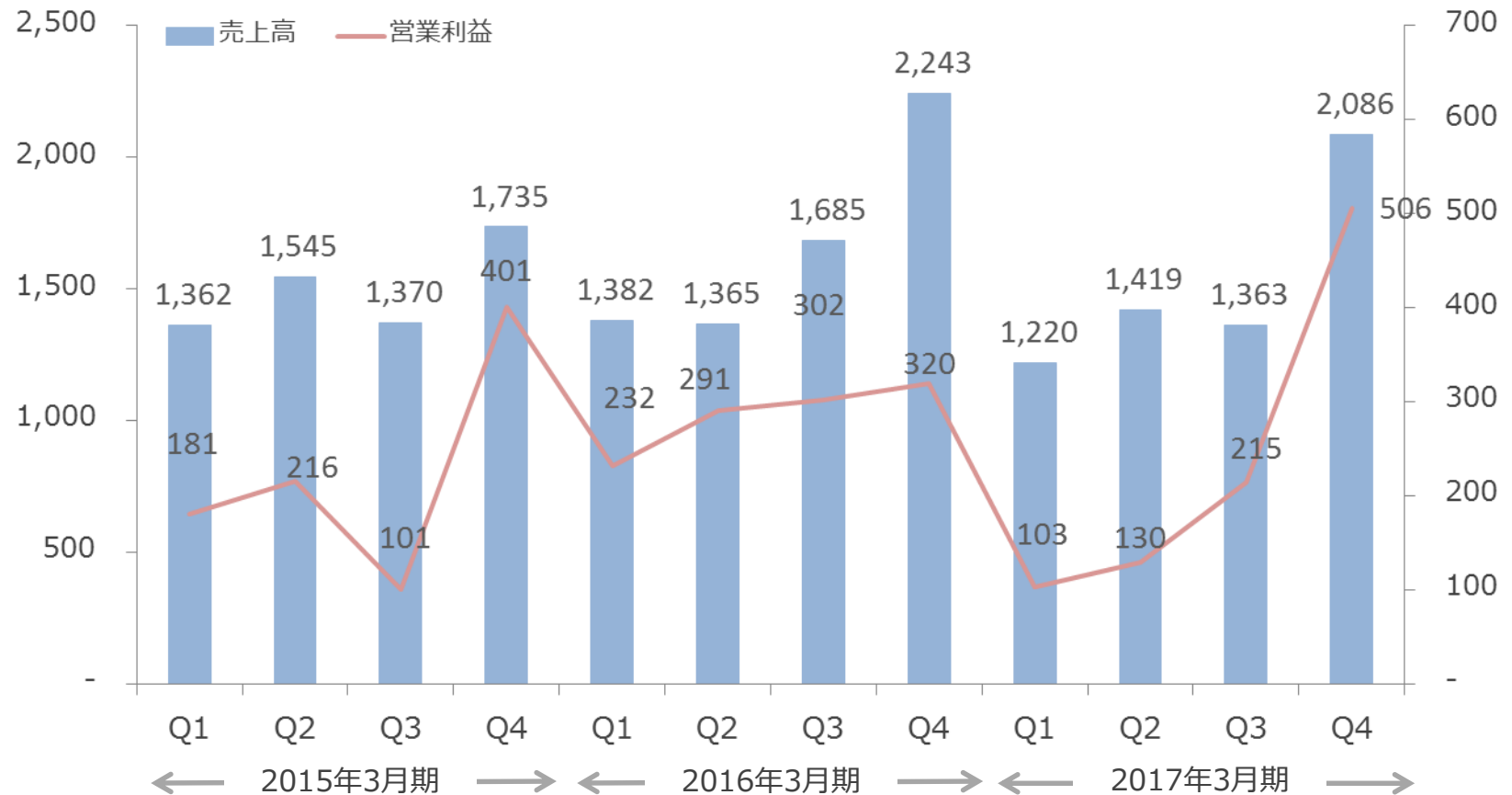


- » ノウハウ販売と建築部材販売における売上高の減少に伴い、営業利益は前期比で減少

2 セグメント別業績（3）建築コンサルティング ②

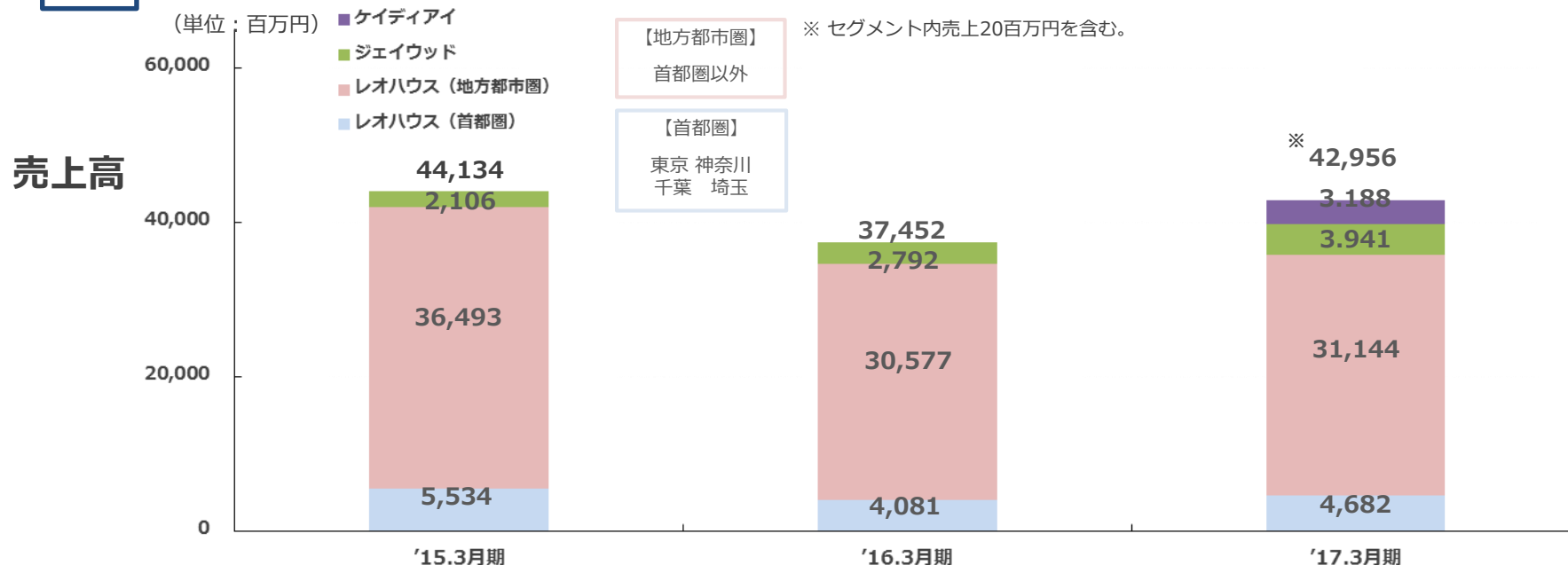
(単位：百万円)

(単位：百万円)

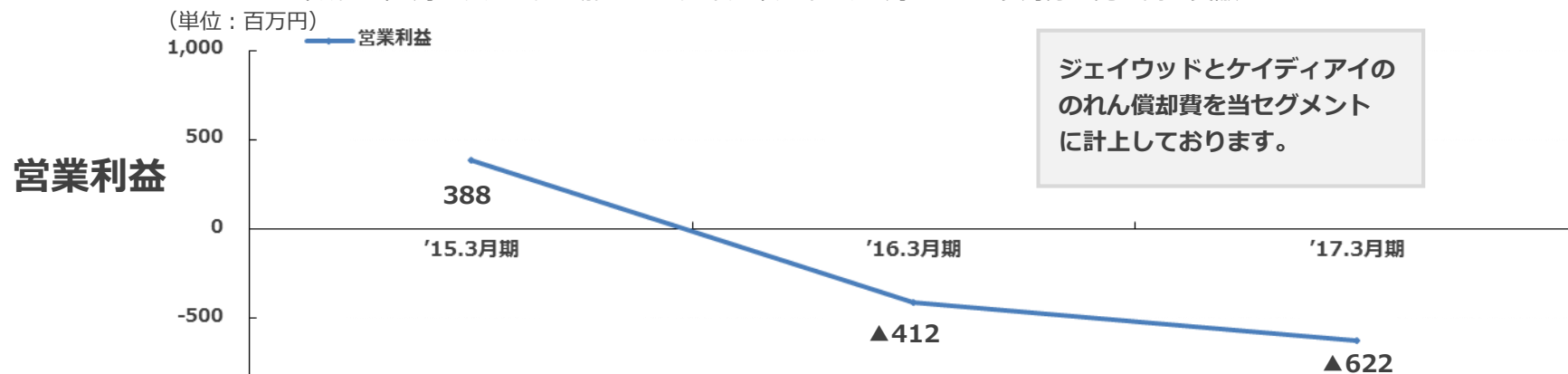


» 売上・利益ともに、4Qに売上高・営業利益が集中する傾向

2 セグメント別業績（4）住宅事業 ①



- レオハウスは、多様な営業戦略と積極的な販売促進活動が受注数の増加につながり、売上高は前期比で増加
- ジェイウッドは、受注も好調で売上高が前期比で増加
- 平成28年5月にグループに加わったケイディアイは、7月からの9ヶ月分の売上高が貢献

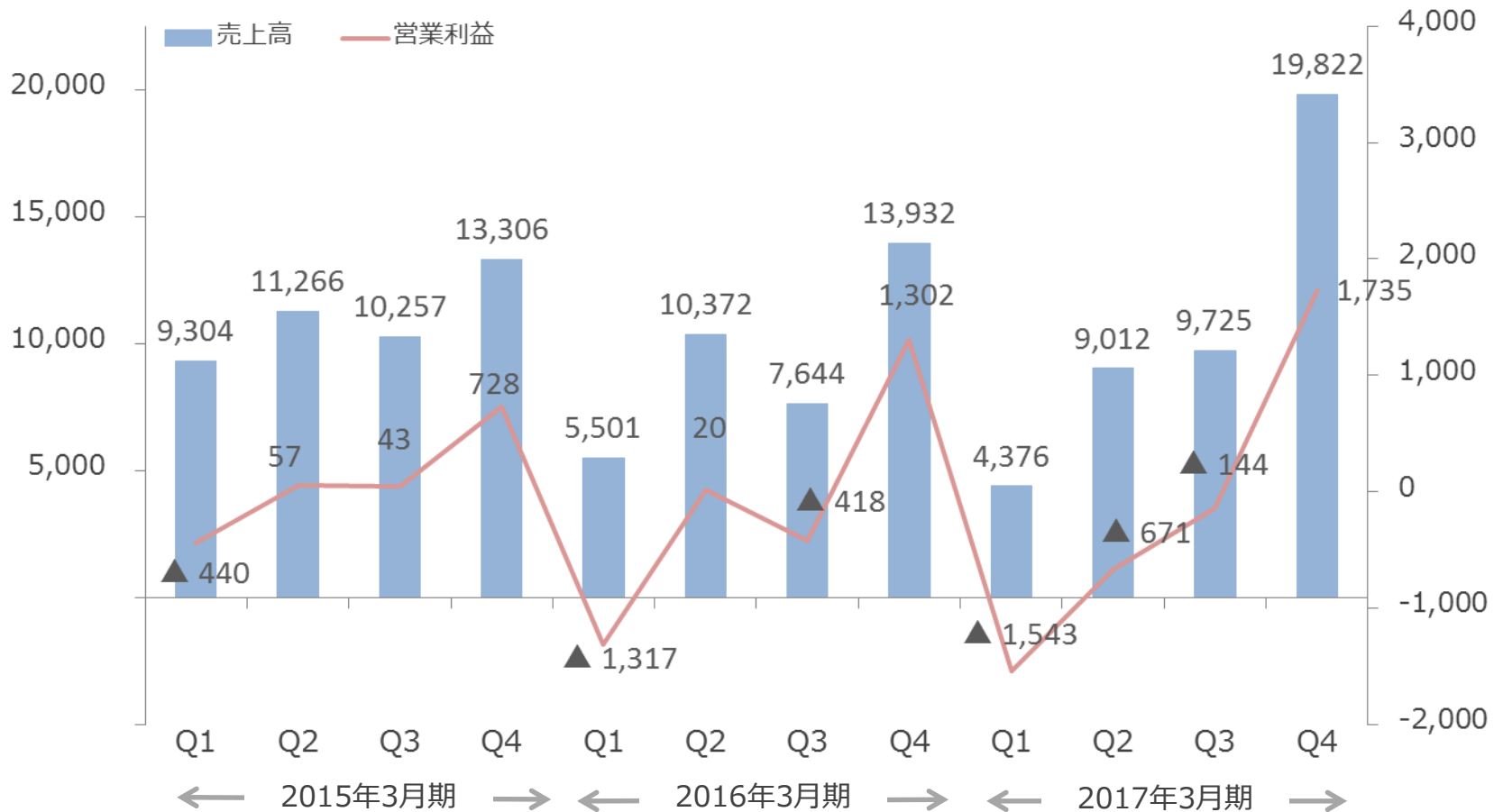


- 損益面では、レオハウスにおいて消費税と工期の遅れにより当初予想に売上高が届かず、また工事原価や販売促進費が増加し、営業損失を計上

2 セグメント別業績（4）住宅事業 ②

(単位：百万円)

(単位：百万円)



» 住宅の引渡が集中する4Qに売上高・営業利益が高まる傾向

2 セグメント別業績（4）住宅事業 ③

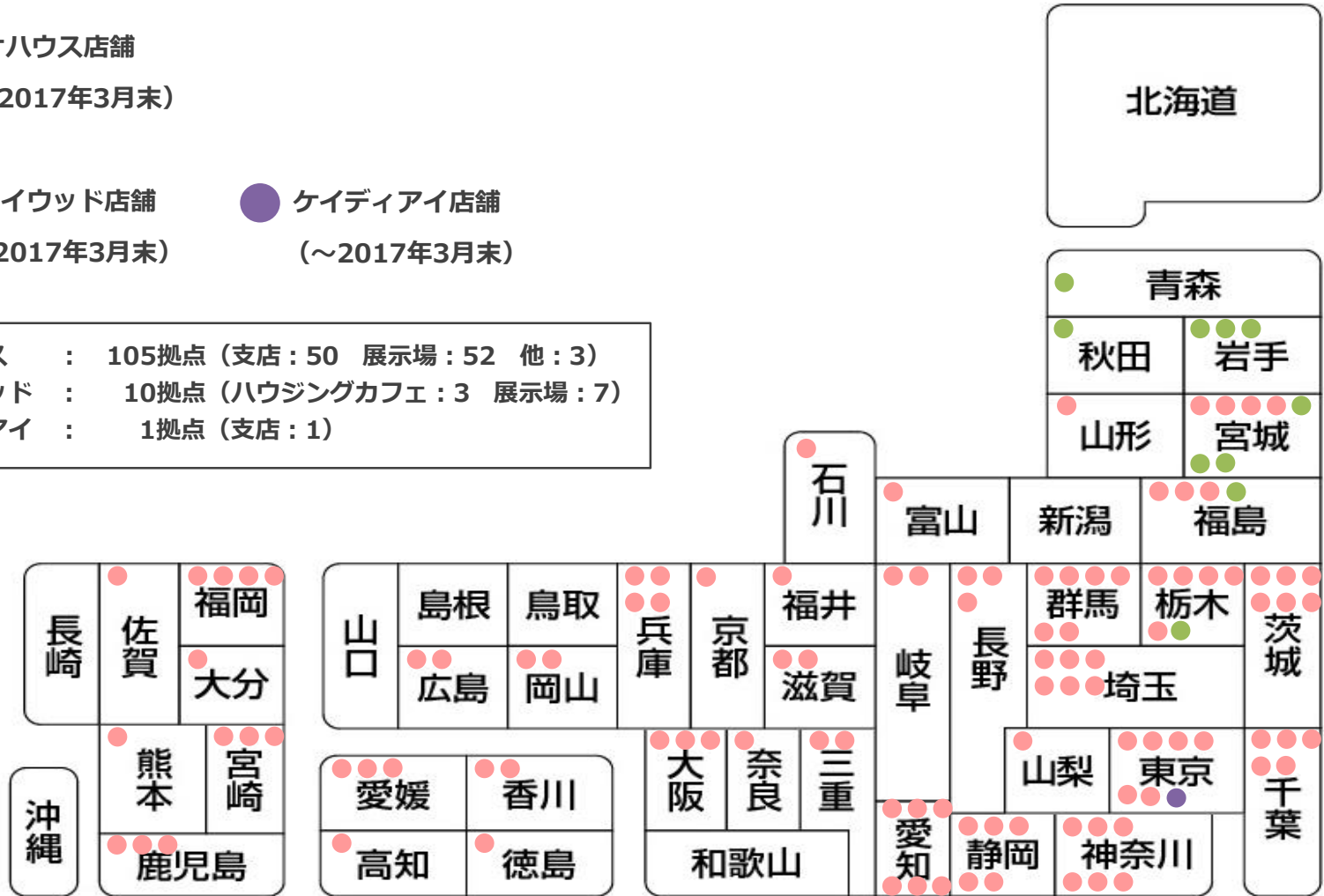
全国116拠点（レオハウス：105拠点、ジェイウッド：10拠点、ケイディアイ：1拠点）

● レオハウス店舗
（～2017年3月末）

● ジェイウッド店舗
（～2017年3月末）

● ケイディアイ店舗
（～2017年3月末）

レオハウス	: 105拠点（支店：50 展示場：52 他：3）
ジェイウッド	: 10拠点（ハウジングカフェ：3 展示場：7）
ケイディアイ	: 1拠点（支店：1）



2 セグメント別業績（4）住宅事業 ④

【レオハウス】 四半期ごとの出店数と受注・完工・受注残・販売単価の推移

(単位：棟数/店舗)

	2015年3月期				2016年3月期				2017年3月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
受注	530	525	415	435	387	533	406	459	457	677	397	550
完工	468	557	492	654	238	500	347	694	186	390	403	871
受注残	1,267	1,220	1,129	902	1,035	1,057	1,109	861	1,114	1,385	1,361	1,016
受注残増減	+34	▲47	▲91	▲227	+133	+22	+52	▲248	+253	+271	▲24	▲345
単価	※1 1,850万円/棟				※1 1,849万円/棟				※1 1,826万円/棟			

※1 販売単価は追加・外構工事を除いた金額

出店数	4	3	3	4	7	0	0	0	2	0	0	0
店舗計	※2 97	100	103	107	※3 109	※4 108	108	※5 105	※6 105	105	105	105

※2 支店統廃合により▲2

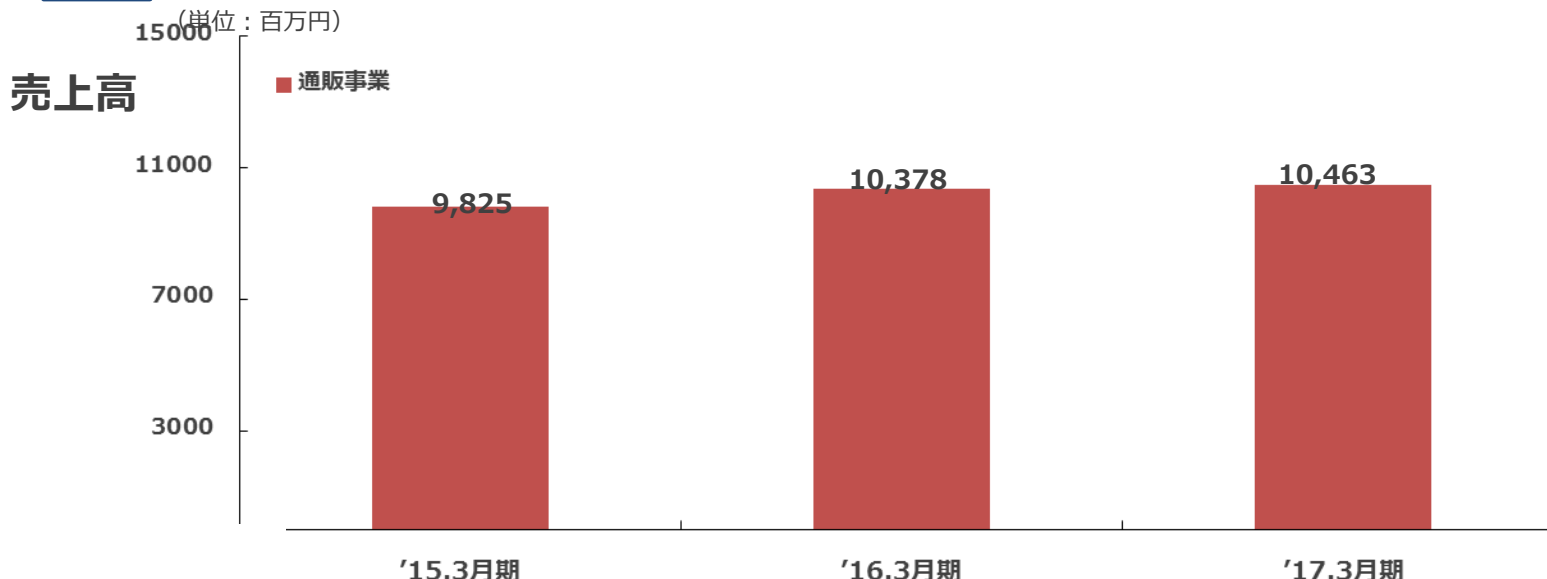
※3 支店統廃合により▲5

※6 支店統廃合により▲2

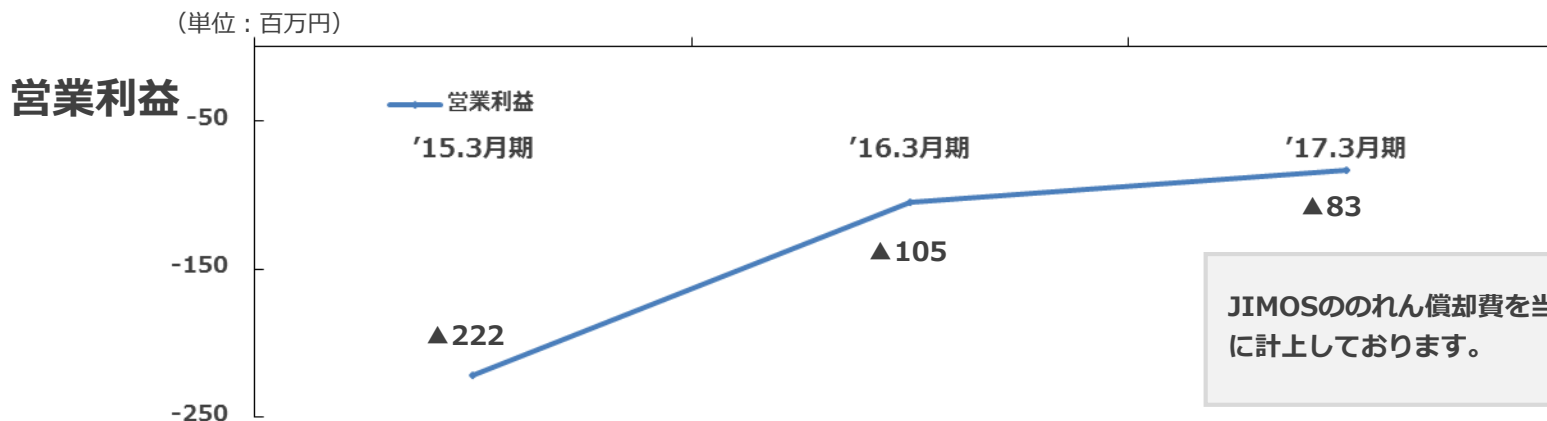
※4 支店統廃合により▲1

※5 支店統廃合により▲3

2 セグメント別業績（5）通販事業 ①



- » マキアレイベルは、新規顧客獲得数は伸長したものの、既存顧客からの注文が伸びず前期比で微減
- » Coyoriは、新規顧客が順調に推移し注文も好調で前期比で増加
- » 通販コンサルティング事業は、売上高が前期比で減少



JIMOSののれん償却費を当セグメントに計上しております。

- » 損益面では、広告宣伝費及び販売促進費の適正化を図ったことにより前期比で増加

2 セグメント別業績（5）通販事業 ②

(単位：百万円)



- » 上期に販促費を増加 下期に売上高・営業利益が高まる傾向
- » のれん償却費を当セグメントに計上しており、損益面ではマイナスとなる。

3. 2018年3月期 連結業績予想

3 '18.3月期連結業績予想（1）

（単位：百万円）

	'17.3月期 実績	'18.3月期 予想	前期比
売上高	85,901	96,300	+ 12.1 %
営業利益	1,130	2,000	+ 76.8 %
経常利益	1,167	2,050	+ 75.6 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	467	850	+ 81.7 %
年間配当	27 円	37 円	-
EPS	27.76 円	50.62 円	+22.86 円

3 '18.3月期連結業績予想（2）

■ 売上高 前期比 12.1%増 963億円

■ 営業利益 前期比 76.8%増 20億円

クリックラ

新規顧客の獲得

⇒ 積極的な営業キャンペーンの実施

顧客単価・継続率の向上

⇒ ボトル消費を促進する副商材の充実

⇒ カプセル式コーヒー「Caffitaly」の販売

住宅

【レオハウス】

⇒ 「大人気の家CoCo」を軸にした商品戦略

⇒ リフォーム事業などの新たな領域への参入

⇒ セミオーダーでデザイン性を重視したローコストブランドの販売

【ジェイウッド】

⇒ 好調な独自の集客スタイルをより一層強化

レンタル

【ダストコントロール商品部門】

⇒ M&A戦略の推進

⇒ トータルケアサービス部門のエリア拡大

⇒ ネット販売の拡充

【害虫駆除部門】

⇒ 商品アイテムの強化

建築コンサルティング

【ノウハウ販売】

⇒ 取引先工務店向け支援策の拡充

⇒ 新商品の開発と既存商品のバージョンアップ

【建築部材販売部門】

⇒ 分譲住宅といった隣接市場への参入

通販

新規顧客の獲得

⇒ 海外市場への化粧品通販の展開

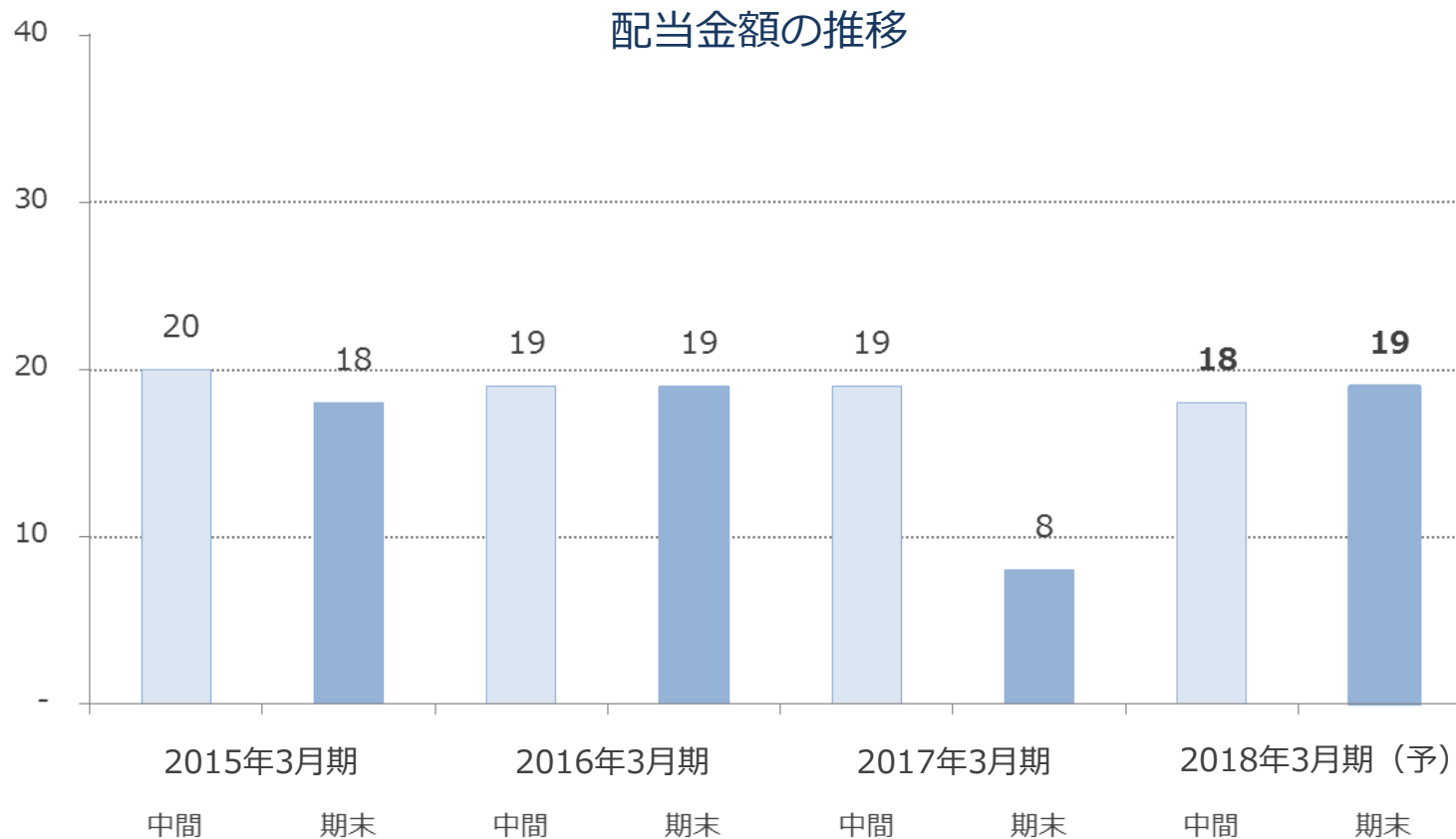
⇒ 新ブランドの開発

4. 配当計画

4 配当方針：純資産配当率(DOE) 4%

※ 2017年3月期より「配当性向100%以内」の前提条件を付与

(単位：円)



1株あたり
年間配当額

38円

38円

27円

37円

※ 配当方針の「連結純資産配当率4%」を基準に2018年3月期年間配当額は37円の予定です。

5. 中期経営計画

5 基本方針

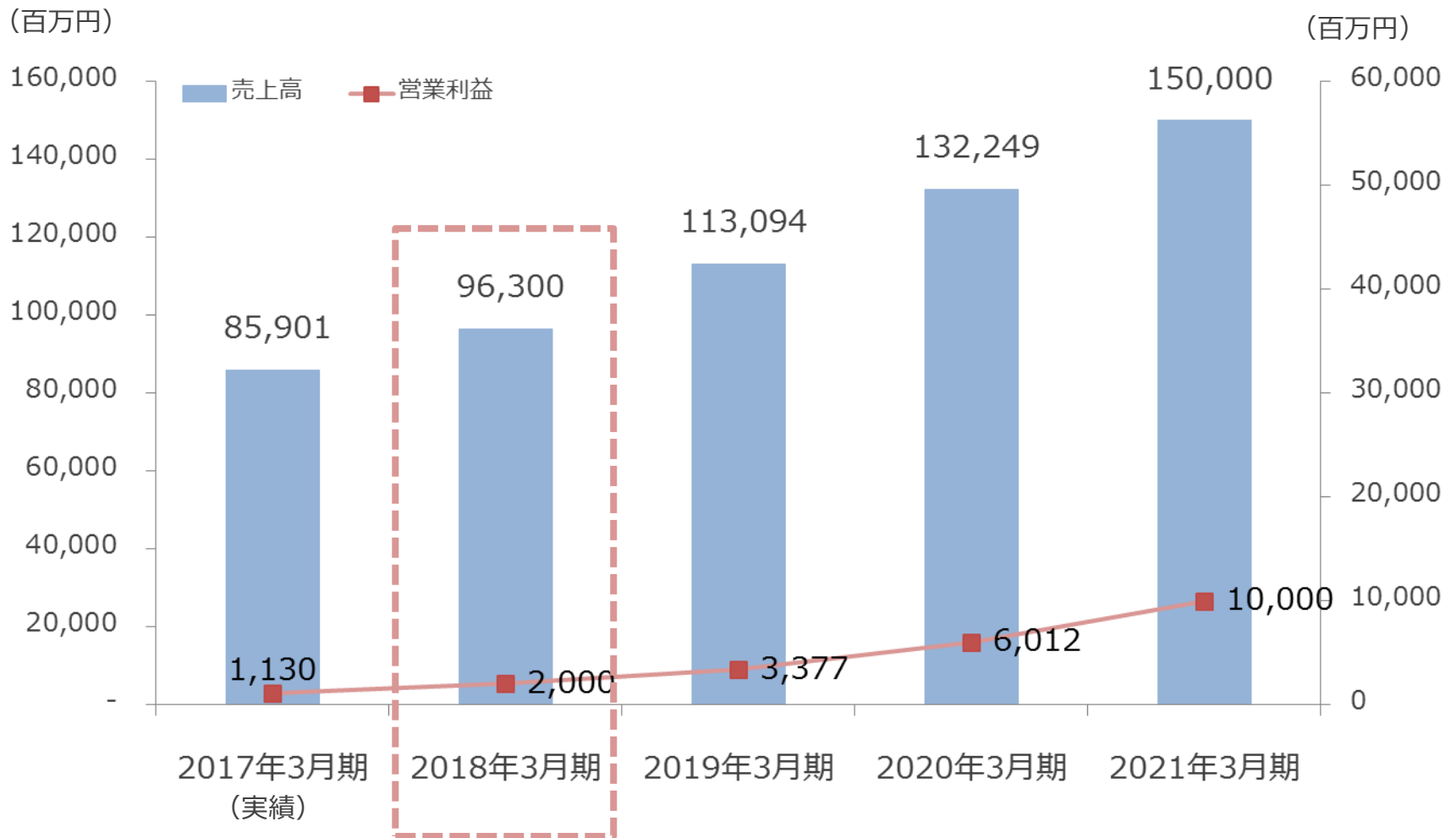
2021年3月期にグループ連結売上高1500億、同営業利益100億を達成すべく、既存事業の収益安定化と共に、新たな事業の育成に向け戦略的な投資を行っていく。

5 中期経営計画（最終期2021年3月期）

（単位：百万円）

売 上 高	売上高	営業利益	営業利益率
ク リ ク ラ 事 業	21,800	1,100	5.0 %
レ ン タ ル 事 業	17,000	2,200	12.9%
建築コンサルティング 事 業	8,800	1,100	12.5%
住 宅 事 業	80,000	5,100	6.3%
通 販 事 業	20,400	2,100	10.2%
M & A 他	2,000	0	-
本 社 費 用	-	▲1,600	-
合 計	150,000	10,000	6.6%

5 中期経営計画業績推移



※2018年3月期は2015年12月9日発表時【売上高98,024百万円、営業利益1,844百万円】より修正

6. 補足資料

会社概要と事業紹介

(2017年3月末 現在)

商号	株式会社ナック (Nac Co., Ltd.)
所在地	東京都新宿区西新宿一丁目25番1号 新宿センタービル
設立	昭和46年5月20日
代表者	代表取締役社長 吉村 寛
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ クリクラ事業：宅配水の製造・販売 ■ レンタル事業：ダスキンの清掃用品、害虫駆除器のレンタル、定期清掃業務 ■ 建築コンサルティング事業：建築ノウハウ、太陽光発電システムの販売 ■ 住宅事業：注文住宅の建築請負、分譲住宅の販売及びそれに付随する金融・保険業務 ■ 通販事業：化粧品・健康食品・酒類等の通信販売
連結子会社	<p>株式会社レオハウス (住宅事業) 株式会社アーネスト (ビルメンテナンス事業) 株式会社 JIMOS (通販事業) 株式会社ベルエアー (通販事業) 株式会社ジェイウッド (住宅事業) 株式会社エコ&エコ (省エネ商材販売・工事) 株式会社ケイディアイ (住宅事業) 株式会社ナックライフパートナーズ (金融・福利厚生)</p>
従業員数 (正社員)	連結2,175名 (パートタイマー、アルバイトは除く)
資本金	40億円
発行済株式数	18,719,250株 (一单元：100株)
株主数	11,775名 (自己名義株式を除く総株主数)

6 主な指標（連結ベース） 経営指標から

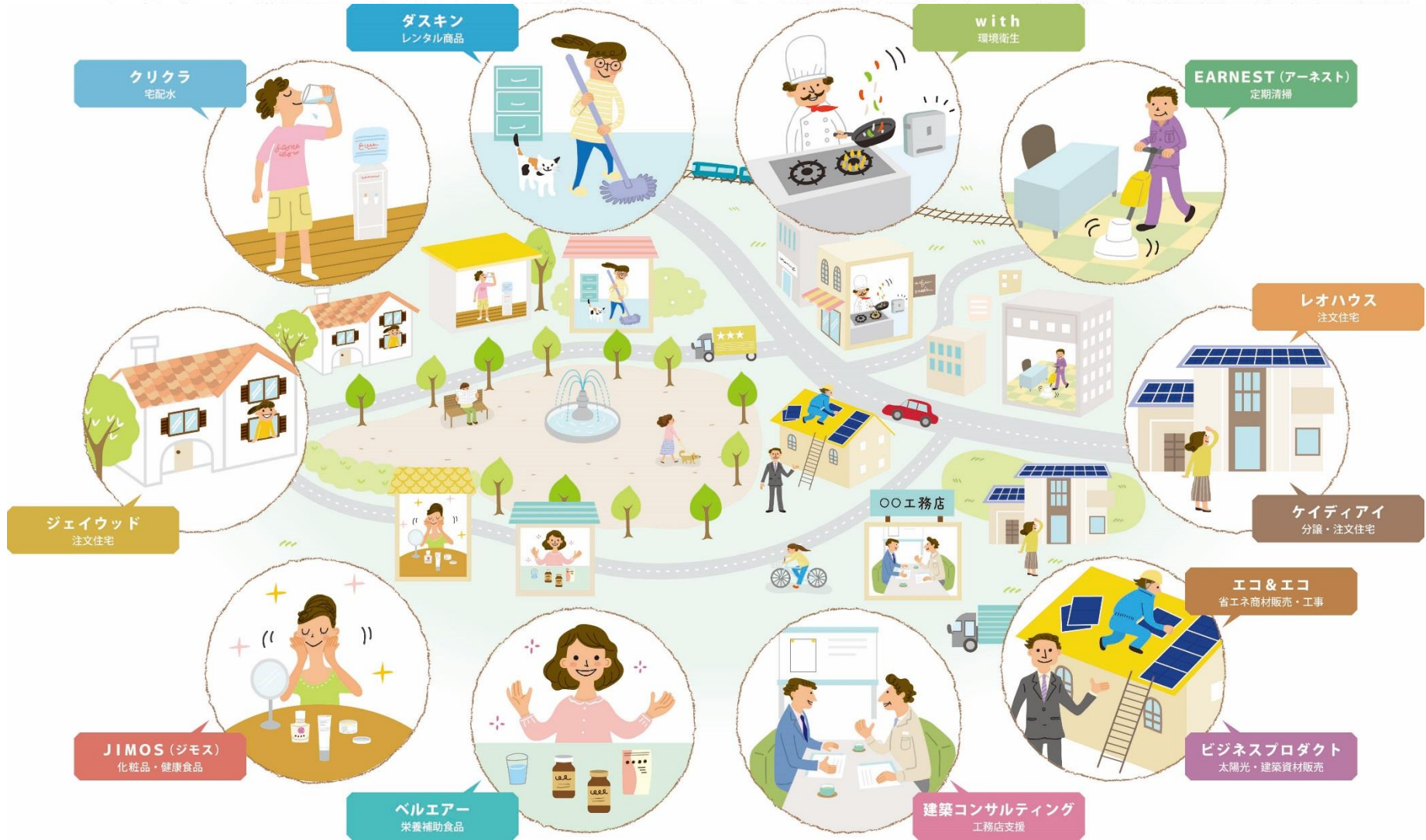
	'16.3月期 実績	'17.3月期 実績	増減
期中平均発行済株式数	16,867,190 株	16,854,157 株	▲ 13,033 株
1株当り純資産（BPS）	934.95 円	926.53 円	▲ 8.42 円
1株当り当期純利益（EPS）	14.99 円	27.76 円	+ 12.77 円
自己資本比率	38.0 %	36.0 %	▲ 2.0 pt
自己資本純利益率（ROE）	1.6 %	3.0 %	+ 1.4 Pt
1株当り配当金	38 円	27 円	▲ 11 円
配当性向	253.6 %	97.3 %	▲ 156.3 pt
純資産配当率	4.0 %	2.9 %	▲ 1.1 pt

5 沿革

1971年 5月	東京都町田市に株式会社ダスキン鶴川設立	
1977年 8月	株式会社ナックに商号変更	
1995年 9月	日本証券業協会（現：JASDAQ）に店頭登録	
1997年 1月	東京証券取引所市場第二部上場	
1999年 9月	東京証券取引所市場第一部指定	
2001年 12月	宅配水事業「クリクラ」に進出	
2002年 2月	連結子会社（現・株式会社レオハウス）で住宅事業に進出	
2010年 3月	創業 40周年、売上高 500億円達成	
2012年 3月	株式会社 アーネストを子会社化	
2013年 7月	株式会社 JIMOSを子会社化 株式会社ジェイウッドを子会社化	
2015年 4月	クリクラ本庄工場新設	
2015年 9月	株式会社エコ&エコを子会社化	
2016年 5月	株式会社ケイディアイを子会社化	
2016年 12月	株式会社ベルエアーを子会社化	

6 理念：暮らしのお役立ち企業

家を買って 掃除して 水を飲んだ。それぜんぶナックです。



5 各事業の市場におけるポジショニング

クリクラ事業

- 宅配水市場**売上高シェアNo.1**※1（加盟店は全国に約600社）
- 製造本数**業界No.1**(約1800万本)
- **業界初**のHACCP認証、ecoマークを取得
- **業界初**の研究開発専門センター設立

※1 2011～2014年度宅配水市場販売金額ベース株式会社矢野経済研究所調べ 2016年2月現在

レンタル事業

- ダスキンフランチャイズディーラー**売上No.1**（約2,000社中）
- **日本初**の厚生労働省承認 飲食店向け害虫駆除器「with」

建築コンサルティング事業

- ナック会員工務店 **約6,000社**
- 地場工務店向け「受注促進」「原価低減」支援事業
- 太陽光発電システム、スマートハウス商材などの卸販売
- 2015年9月より省エネ商材販売・工事を手がける株式会社エコ&エコを子会社化

住宅事業

- 「レオハウス」ブランドによる注文住宅の建築請負
- レオハウス '11 '12 '13 年度注文住宅 **地域ビルダーNo.1**
- 2013年7月より自然素材住宅を手がける株式会社ジェイウッドを子会社化
- 2016年オリコン日本顧客満足度調査ハウスメーカー（注文住宅）**女性の顧客満足度第1位**等、同調査で合計 **3部門で1位獲得**
- 2016年5月より首都圏を中心に分譲・注文住宅を手がける株式会社ケイディアイを子会社化

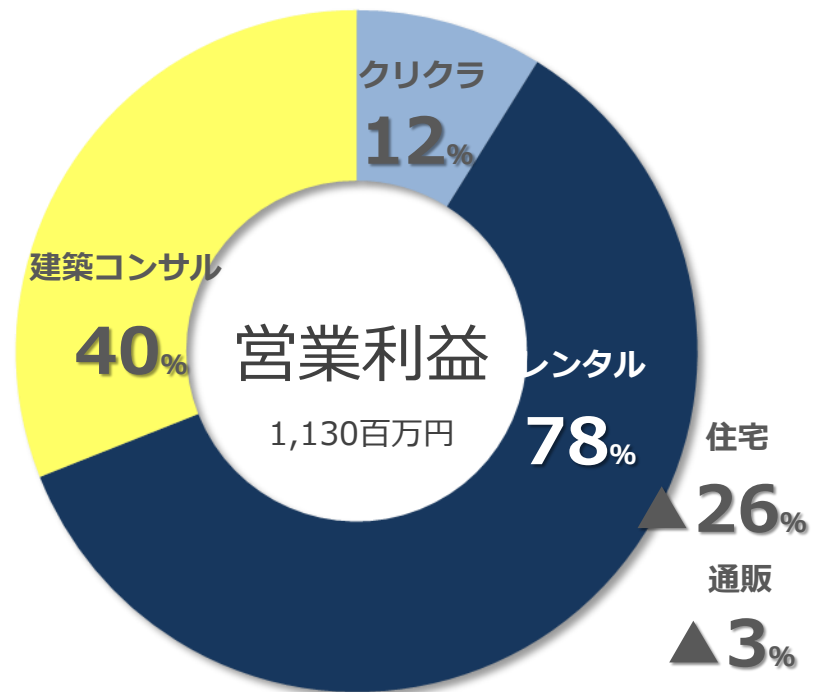
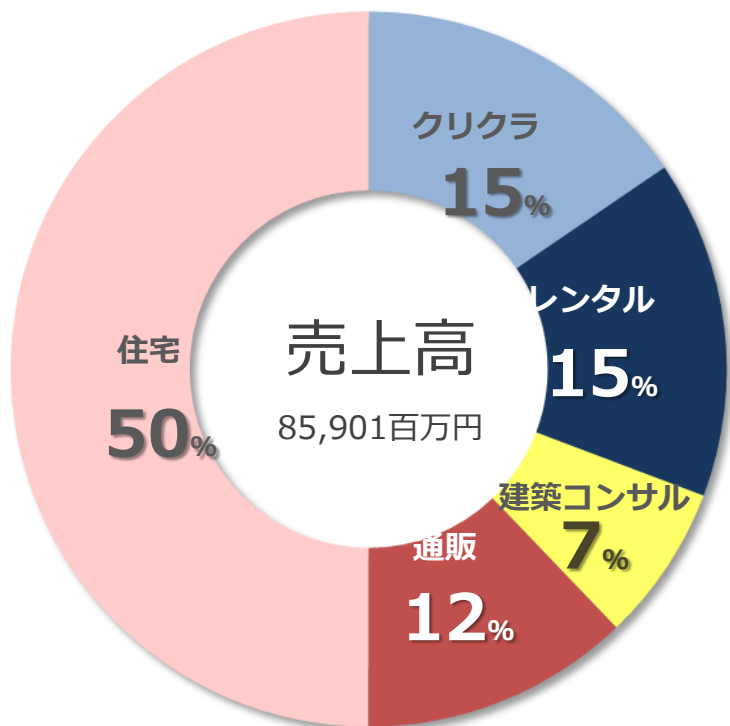
通販事業

- 2013年7月、株式会社 JIMOS の子会社化により通販事業参入
- 40～60代の女性を中心に、基礎化粧品が主力
- 『薬用クリアエステヴェール』美容液ファンデーション市場で12年連続売上 **NO.1**を獲得！
- 2016年12月より栄養補助食品（サプリメント）を手がける株式会社ベルエアーを子会社化

5 売上高・営業利益構成比（16.3期実績）

■ クリクラ ■ レンタル ■ 建築コンサル ■ 通販 ■ 住宅

■ クリクラ ■ レンタル ■ 建築コンサル



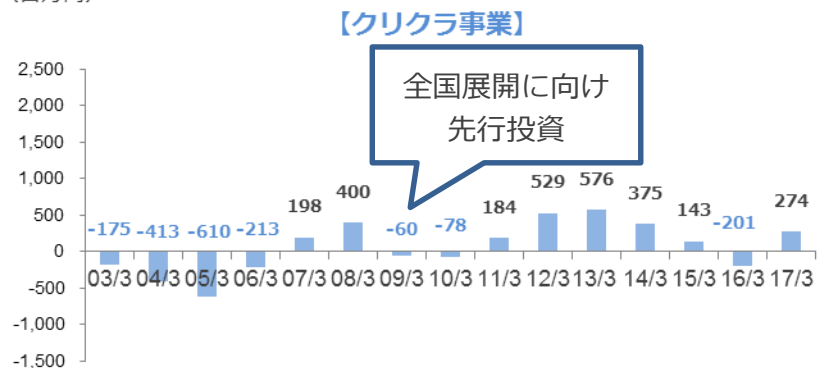
※本社費は除外しています

売上高営業利益率

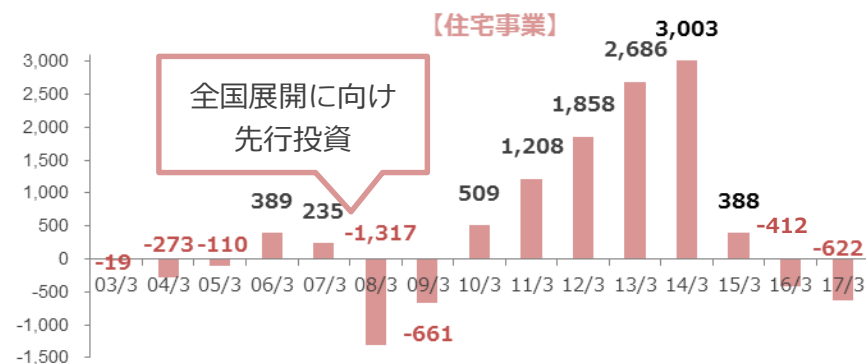
クリクラ	レンタル	建築コンサル	通販	住宅	全社
2.1%	14.1%	15.7%	▲0.8%	▲1.5%	1.3%

5 セグメント別営業利益の推移

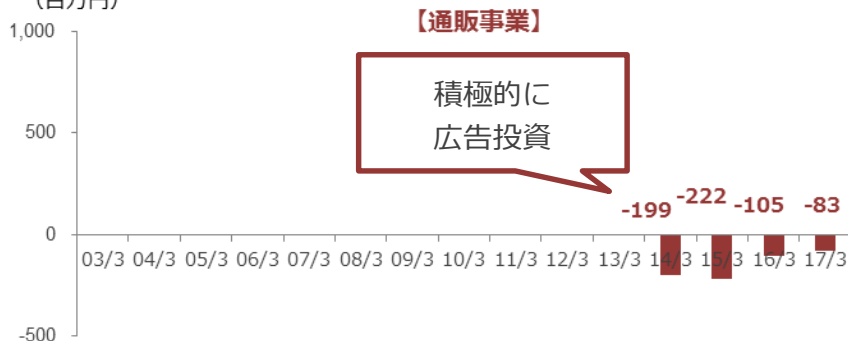
(百万円)



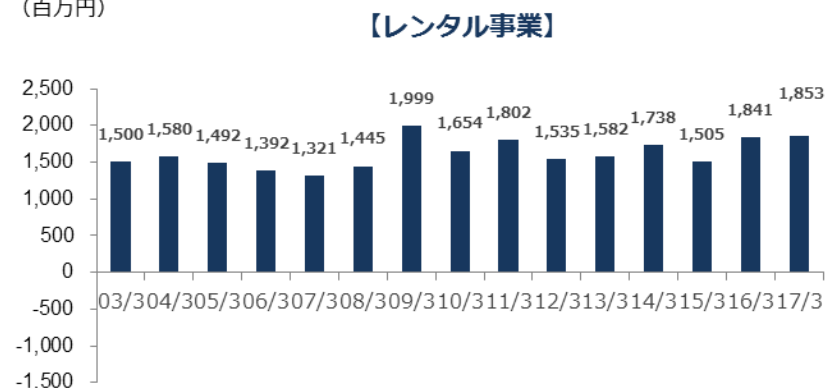
(百万円)



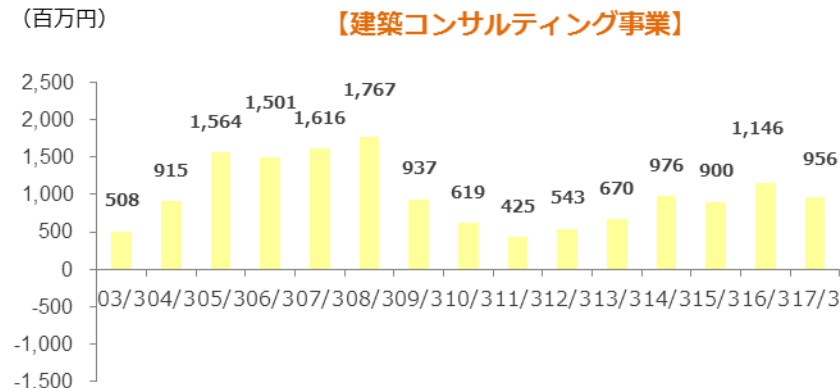
(百万円)



(百万円)



(百万円)



安定したレンタル事業と建築コンサルティング事業を基盤に積極的に投資をして成長を目指します。